

学部 / 看護専門領域 / 看護援助の方法

科目コード：120319

在宅看護方法論 I Home Care Nursing I

担当教員	林 一美 桜井 志保美 子吉 知恵美 山崎 智可				
実務経験					
開講年次	3年次前期	単位数	1	授業形態	講義・演習
必修・選択	必修	時間数	15		
Keywords	在宅療養者とその家族の生活の理解、在宅での基本的生活援助技術				
学習目的・目標	【目的】 在宅看護の対象である在宅療養者・要介護者とその家族への理解を深めるとともに、在宅看護で必要とされる基本的生活援助技術について講義・演習を通して修得できる。 【目標】 1. フィールドワークや自己学習課題を主体的に取り組むことにより、在宅看護の視点を理解する。 2. 在宅ケアに関連する基本的概念や法制度を理解する。 3. 在宅看護で必要とされる基本的生活援助技術を修得する。				
授業計画・内容					
回	内容				
1	在宅療養者とその家族の生活 ・在宅看護方法論 I の学習の進め方（フィールドワーク・自己学習課題） ・在宅療養者とその家族の生活状況、家族による介護状況、援助者による援助の状況について理解を深める				
2	在宅看護の展開/在宅における面接技術・観察技術 ・訪問看護の展開、在宅における面接技術、在宅における観察・アセスメント				
3	在宅看護にかかわる法令・制度 ・介護保険制度 ・ケアマネジメントの定義、在宅ケアシステム、ケアマネジメントの構成要素、社会資源について、ケアマネジメントの展開過程				
4	訪問看護の実際 ・訪問看護制度 ・訪問看護サービスの提供				
5-6	在宅看護で必要とされる基本的生活援助技術の演習 ・食と排泄 (演習) 自己学習課題をもとに演習を進める				
7-8	在宅看護で必要とされる基本的生活援助技術の演習 ・活動と休息/清潔と衣生活 (演習) 自己学習課題をもとに演習を進める				

教科書

河原加代子他：系統看護学講座 在宅看護論、医学書院
原礼子編著：プリンシプル在宅看護学、医歯薬出版株式会社
鈴木和子・渡辺裕子著：家族看護学－理論と実践－、第4版、日本看護協会出版会、
国民衛生の動向、最新版、厚生統計協会

参考図書等

訪問看護業務の手引、最新版、社会保険研究所

評価指標